



社会就労センター〔セルブ〕

石川セルブニュース



(チャンス) 障害者に働く機会を！
(チャレンジ) 挑戦する勇気を！
(チェンジ) よりよい改善を！

NO. 8

発行 石川県社会就労センター協議会
編集 広報委員会
発行責任者 表 修司
〒920-8557
金沢市本多町3丁目1番10号
(石川県社会福祉協議会内)
TEL(076)224-1212



施設紹介

カナンの園

加賀市水田丸町ワ2番地2

カナンの園は、知的障害を克服して社会参加しようと努力する人たちのために、昭和60年4月県内初の入所授産施設として開設されました。

加賀市南端の高台に位置し、遠く加賀平野を見渡せる、ここカナンの園には総勢50名の皆さんが集い、親のところで全てを考える「慈愛」、明るく元気で情緒豊かな「健康」、自立し職業人となるための「生業」を基本とする指導方針のもとでのびのびと生活しています。

職業訓練としては、山中漆器生産の数多い工程のうち、塗装工程を中心とした素地の清掃、磨き塗装の手元作業、包装、箱入れ等の諸々の作業に懸命に取り組んでいます。

又、日常生活では入所施設であることを考慮し食事や入浴回数、外出等に変化をもたせたり、余暇の活動に工夫するとともに、旅行等楽しい行事も多く取り入れながら、きめこまかにアットホー

ムな雰囲気での生活に心がけています。

更に、小中学校等地域との交流や、年3回の家庭での生活実習等を含め、皆さんに潤いと季節感があり、張合いのある生活をおくることのできるよう努めています。

みなさんの目標を援護するため、平成3年4月には、みごと社会自立した人たちのための福祉ホーム「さんあいコーポラス」が開設され、現在、10名の方々が入居し、山中漆器産地の小規模工場へ就職し、元気で活躍しています。

しかし、長期化する平成不況の波に園生みなさんの目差す社会自立は決して容易なことではありませんが、元気で明るく社会性豊かに確かな生業技能を身につけ、社会に巣立つ日を信じ、共にこのころの手をつなぎ額に汗しているところでございます。

～ 翹 点 ～

選ばれる施設(社会就労センター)へ

やまびこ学園長 飯田 世三

社会福祉基礎構造改革関係9法案が、秋の臨時国会に必ず上程されると、厚生省の仁木障害福祉課長から直に聞くと、いよいよかと緊張感を持つ。

今年度全国社会就労センター総合研究大会(浜松大会)第2日分科会・分散会では、改革に対する疑問、不明点、不安と焦燥感等の交錯した本音の発言が続出し、異様なムードがあった。

- 障害者が働きに行くのに、なぜ利用料徴収なのか。
- 社会就労センターは、「就労の場か」「訓練の場か」ははっきりせよ。
- 契約制度は、本人の判断能力、施設の受け入れ・拒否等、本当に本人の権利擁護になるのか。
- 選択せよというが、施設がない。
- 措置費制度の良さを残さないのか。
- サービスの評価等不明点が多い。等々が出た。

改革のメイン「措置から選択契約制度へ」は、明治維新に匹敵するくらいの福祉改革だという。戦後制定されてきた各福祉法は、社会の変化により、制度疲労をし、早晚改革は必死とされていた。ある福祉専門家は、この改革は定着に10年間を要し、施設の2割が淘汰されると言っている。ま

さに、施設の生き残りが掛けられている訳である。

とにかく、改正法案が通り、実施の平成15年4月までに、関係審議会等の具申を受け、厚生省から省令等が出され、今までの疑問や不透明部分が解消されるだろう。クリアしなければならない問題が山積みなので、ジタバタしないで、周囲の状況を傍観していようと決め込む考えもあろう。

しかし、日和見でなく、「選ばれる施設」という立場で、選ばれる中身をきちんと決める必要がある。サービスの質とは、契約とは何か。また、人材養成や研修、障害者の処遇(特に高齢化問題)、自主生産、下請授産等の方向性を見直し、具体的に、自らの施設のサービス内容を公開できるようにしておき、第三者の評価基準にも応えられるようにしておかなければならない。

今後は、障害者のニーズを把握し、選ばれるメニューを整備し、障害者の生活・経済的自立をめざす社会就労センターとして、生産活動の推進のために、より研鑽と努力を積み重ねなければならない。

頑 張 っ て ま す!! (利用者の声)

キッチンクラブおしみず 橋本 幸恵



わたしは今、キッチンクラブ押水で働いています。キッチンクラブ押水では、作業班、パン班、弁当班の三つの仕事に分かれていますが、わたしは料理やお菓子作りが好きなので、弁当班に所属してがんばっています。

仕事は、野菜洗い、人参や玉ねぎや大根の皮むきやボールの中へ食材を入れる等の下ごしらえ、弁当箱の下洗い、ご飯やおかずの盛り付けなどたくさんあります。これらの仕事は、職員が曜日毎に、係を決めて行っています。

わたしは、厨房の中の仕事では、おかずの盛り付けが一番好きです。お客さんに、「おいしそうだな。」と思われるように、きれいな盛り付けを心掛けています。

配達の仕事も大切です。配達では、羽咋方面、病院方面、押水方面の三つのコースに分かれています。わたしは、月曜日と水曜日に羽咋方面の市役所や南分署、診療所やそのほかの事業所へ、わたし達の作った弁当を配達しています。

配達のおりをもって階段を上ったり、雨降りのときは大変だけれど、お客さんに「おいしいお弁当をありがとう。」「ごくろうさま。」と声をかけてもらうととてもうれしくて、(また、がんばろう)という気持ちがわいてきます。

キッチンクラブ押水のみなさんと働く毎日が、わたしにとって、とても充実しています。これからも、指導員や調理員のみなさんに教えていただ

きながら、一つでも多くの仕事を覚えて、弁当作りにがんばっていきたいです。そして、一人でも多くの地域の人達に喜んでもらいたいと思っています。

セルフあさがお

江藤 佳苗



私は今、セルフあさがおでパンの作業をしています。バターロールやデニッシュなど、たくさんのパンを作っています。最初はよくわからなくて緊張しましたが、おいしいパンができるととてもうれしいです。

私は毎日、自転車でセルフあさがおに通っています。天気が悪くてもなるべく自分の力で仕事に行きたいです。少し遅れてしまう事もあるけど、その分作業でばんかいます。

去年は段ボール作業で頑張りました。今はどんな仕事も大好きです。得意な仕事もふえました。何でも早くたくさん作ることができるので、私は作業のチャンピオンだと言われています。そう言われることが、とてもうれしいです。そして、工賃をためて、好きなジャンプのCDを買うのが好きです。もっとたくさん聴きたいです。

これからも、チャンピオンの名に恥じないよう、何でも頑張ろうと思います。皆さんも応援してください!

(本人にインタビューの後、指導員：夷藤和明代筆)

初挑戦セルフロングフェア

販売促進能登副部長 直 龍芳

「初挑戦」はとても不安、心配がつきまとう。でも逆に楽しみもある。自分たちの力（商品や販売方法など）がどれだけ通用するのか？どれくらい手ごたえがあるのか？など、この気持ちを合わせもちながら、9/16(木)～26(日)の11日間アル・プラザ鹿島で「セルフロングフェア」を開催することになった。県内22施設が参加し、各施設の売れ筋商品を3品販売し、お客様の反応、動向を観察し勉強することにした。結果は、11日間で約40万、1日平均約3万6千円の売り上げだった。

後日、販売促進部で反省会を行い次の意見が出た。

- ・ロングをするよりショート（3～4日間）で一気に入アピールし売り上げ金を確保すればどうか？
- ・長期間のフェアは、各施設における負担が増え処遇サービスには影響がでるのでは？
- ・場所を提供して下さる商業施設がある限り、是非続けて挑戦するべきだ。やればやっただけ必ず売り上げがあるんだから。何のためのSELPという集合体、共同体なのかを再度見つめ直すべきだ。体勢を整え再挑戦するべきだ。

熱い討論の結果、続行再挑戦が決定した。1人ひとりが視野を拡大し、地域に認知される共同体としてSELPブームを巻き起こす意気込みでがんばっていききたいと思う。

新たなステップに向けて

販売促進・金沢地区部長松の実園 橋本 貴志

10月31日(日)、石川県産業展示館において、「石川県障害者ふれあいフェスティバル」が開催されました。

当日は、晴天にも恵まれ、人手も多く、レジには長蛇の列が1日絶え間無く続きました。この売上64万円余りは、各施設の工賃に還元されると思うと、売る側としては、うれしい悲鳴が聞こえるような勢いでした。

近年、各都道府県には、各施設のオリジナル製品を並べた「セルフの店」の開設が増えてきていますが、どの都道府県も現状としては厳しいものだと報告があります。

今回の障害者ふれあいフェスティバルも、少なからず、「セルフの店」を意識したものにしてみようと、販売員を金沢地区で担当し、少人数化を図り、全体の商品を見やすく陳列するなどの試みをしてみましたが、皆さんの目にはどう映ったか、また、様々な方々のご支援の元、今後のステップにと考えております。

セルフフェアを開催して

販売促進加賀地区 田中眞喜子



10月16日(土)から21日(木)までの6日間、小松加賀地区での「セルフフェア」がアビオシティ加賀で開催されました。

今年初めてという事で、加賀市長はじめ多数の来賓をお招きしてのオープニングセレモニーで始まり、毎日施設利用者やボランティアの方々による各種イベントがあり、盛大に行われました。

販促部員による打ち合わせ会で役員分担など何度も話し合いを重ね準備をすすめてきましたが、やはりイザ本番になると、いろいろ不備な点が目についてその場で慌てて手直しするという場面も何度かありました。又、店の方からレイアウトや接客等いろいろ助言をいただきましたが、売上は思うように伸びませんでした。

売るための努力や姿勢、商品の魅力向上やパッケージの方法、価格や販売技術など、さらに工夫をこらす必要を感じました。

でも、「これがおいしかったから又買いにきました」というお客様があったことや、「次回はいつですか」と聞いて下さる方などの声に励まされ次回は、今回の反省を生かして更に頑張りたいと思いました。



オープニングセレモニー

平成11年度(9月～11月分) 石川セルフ振興センター出店フェア・ショップ一覧

名 称	期 間	会 場	売上金額
ふれあい広場	9/5	南陽園	152,030円
ボランティアフェスタ	9/15	中央公園	13,770円
第3回セルフフェア (ロングフェア)	9/16～26	アル・プラザ鹿島	388,793円
羽咋市福祉まつり	9/23	羽咋市体育館	72,050円
若草福祉祭	10/9	若草福祉作業所	52,370円
エコフェスタ	10/10	加賀市中央公園	59,110円
全国保育研究大会	10/13,15	金沢市観光会館	129,200円
第4回セルフフェア	10/16～21	アビオシティ加賀	617,370円
七尾市障害者フェスティバル	10/17	サンライフプラザ	159,240円
福井・石川合同セルフフェア	10/22～25	ショッピングタウンピア	219,310円
小松インポートフェア	10/22～24	小松駅前商店街	241,150円
石川県障害者ふれあいフェスティバル	10/31	産業展示館	617,370円
青空フリーマーケット	11/3	中央公園	27,000円
寺井町ヘルスフェスタ	11/3	寺井町民体育館	134,600円
コマツフェスタ	11/14	コマツ粟津工場	263,863円
石川県社会福祉大会	11/15	美川町文化会館	103,450円
バリアフリー社会推進県民大会	11/19	地場産業振興センター	39,240円
合 計			3,289,916円

金沢で行われた 都道府県セルフセンター・福祉の店担当者会議

10月5日・6日 金沢スカイホテルにて

秋の穏やかな天気の日、金沢で行われた会議は、23都道府県から70名の人が参加して行われた。石川県にとっては、いろいろな事を勉強し吸収する機会ということで、県セルフ協の各委員など19名が参加した。

1日目は、齊藤貞夫氏（全社協・障害福祉部長の現況報告、勝又和夫氏（中央セルフセンター推進委員長）の課題提起、分散会と行われ、最後に中央セルフセンターホームページのデモンストレーションが行われた。2日目は、セルフセンター／セルフセンター未設置県／福祉の店の3つに別れ分科会が行われた。2日間の会議の中で出た話をいくつか紹介したい。

（記録 笠間）

中央セルフセンターから

全国1,800ヶ所ある社会就労センターのうち、現在中央セルフに加入しているのが1,000あまりで、そのうち負担金を納めているのが600程である。中央セルフセンターの活動をもっと活性化させるためにもこの面の改善が望まれる。

中央セルフセンターの法人化については、厚生省の方と昨年何回か話を持ち、現在、法人化促進委員会、具体化に向けての検討作業に入っている。最終的には、厚生省の方で決定されることだが、法人化することにより、外注の場合の契約を法人として出来るなどいろいろなメリットがあり、厚生省が前向きに考えているこの機会に法人化にこぎつけたい。

中央セルフセンターで、急いでホームページを立ち上げた。一般の人にSELFPを宣伝すること以外にも、会員施設と中央セルフセンターとのつながりを深めたり、メールによって、施設職員同士が情報交換をすることも可能なので、多いに活用してほしい。

分科会の中から セルフセンター

近年、補助金が削減され資金不足で、運営が難しくなっているセルフセンターが多い。パレットでも営業を中止した所もある。セルフセンターが、もっと研修や商品開発・技術指導などをして施設職員の資質向上や組織の強化を計る必要がある。また一般の人がまだまだセルフセンターの事を知らないのでアピールしていくことも必要だ。

セルフセンター未設置県

昨年セルフセンターを発足させた滋賀県からの報告があった。3年前に県の社会就労センター

行政側の動き

授産活動活性化特別対策事業

これは授産事業振興の目的で、国から各県に補助金が配られるもので、その総額は7億5千万円で、具体的には平成12年から平成15年の4年間で各県に順番に、1年に750万円が2年間配布され、一つの県に1,500万円が入る予定である。これを有効に使ってほしい。

授産施設等の製品等の利用促進について

8月に厚生省から上記のような文章が、各都道府県・中核市に配られた。これは官公庁などでもっと授産施設の商品を利用するようにという通達である。これを機に、各施設の方から積極的に県などに働きかけてはじめてこの通達が生かされる。

中央セルフセンター・ホームページ開設 アドレス <http://www.selp.or.jp>

十月に開設しました、各施設から送られた
個々の情報も今年度中に入る予定です。



いろいろな情報がいっぱいです。会員専用のページには、施設向けの情報もあり、また会員同士が情報交換する場もあります。

協議会、手をつなぐ育成会、共同作業所、身体障害、精神障害などの多くの団体が集まってあり方検討会を発足し、そして県の指導のもと、平成10年11月にセルフセンターを設立した。現在、県からの補助金が1,200万円程あり、専任の職員が2名で、いろいろな事業を行っている。

福祉の店

不況の為、福祉の店としての売上は全体的にダウンしている所が多い。これからは、福祉の店ですというだけでは売れない時代で、買う人は施設の人が作ったかどうかは問題にしていけないので、一般経済、競争原理の中で店を運営していくしかないようだ。また、店舗販売だけでなく、外へ出て、外販や注文販売の方に力を入れた方が収益が上がるという所が多かった。

「知的障害のある人の働く場」

－市役所での社会参加－

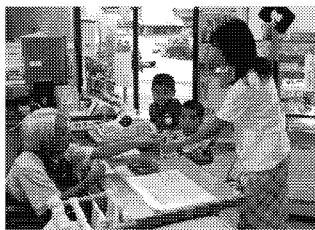
金沢市福祉保健部障害福祉課 網島 理砂

金沢市では、知的障害のある人たちに軽作業に取り組んでもらう機会として、「心身障害者社会参加促進事業」を行っています。この事業は昭和56年度に開始し、主に市内の知的障害者授産施設の通所生に市役所内の軽作業（郵便物等の封筒詰め作業、折り込み作業など）をしていただくものです。

公共機関では大量に郵便物等を発送するため、その封入作業の人数が必要になります。毎月、市役所内の各課から、障害福祉課へ作業の人材派遣依頼を提出してもらい、障害福祉課でとりまとめし各作業所などに人の派遣依頼をします。平成10年度には延べ約1,000人（指導員含む）に金沢市役所、金沢市企業局、金沢市保健所等への仕事に行っていました。作業にはある程度のノルマがありますが、みなさんには責任を持った仕事をしてもらっています。金沢市では「社会参加」というだけのものではなく、仕事の貴重な人材となっただけです。

初めまして「100円ショップPOPPY」

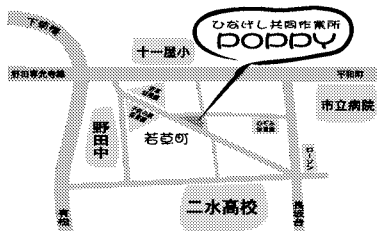
ひなげし共同作業所 羽生



社会就労センターひろびろ作業所の隣で長年活動していた心身障害者小規模通所援護施設「ひなげし共同作業所」が今年6月に金沢市若草町へ移転し、

100円ショップという新たな作業形態への挑戦を始めました。利用者の経済的自立を視野に入れた支援と社会参加を目指し、市街地でのサービス業を通じて地域の方々との交流を深めることを目的として、利用者11名、スタッフ3名で毎日頑張っております。

ポピーのお客様の中心は高校生、中学生です。若い人たちが学校帰りにちょっとお店に立ち寄り、利用者達と会話を交わす雰囲気は、ごく自然であります。この当たり前のことを大切に頑張っています。ご支援の程よろしくお祈いします。



ひなげし共同作業所

金沢市若草町23-1

電話076-243-0326 FAX076-243-0327

調査・研究委員会からのお知らせ

調査・研究委員会ではセルフフェア・ショップにおいて使用されるバーコードレジスターの管理を行っています。バーコードレジスターの使用により、各施設の売り上げデータを明確に得ることができるため、より正確な操作が必要となってくるのです。

そこでレジスターを使用していない期間に貸し出しを行ない、みなさんにレジスターに慣れて頂ければと考えています。

各施設での研修の一環としてぜひ使用してみたいかがでしょうか？

〈連絡先〉

社会福祉法人 南陽園 セルフなんなん

TEL 0761-74-6613 担当 荒栄

石川セルフ振興センター 平成11年度 賛助会員加入のお願い

石川セルフ振興センターは、平成9年4月石川県内全ての知的障害者ならびに身体障害者、精神障害者の社会就労センター（授産施設）が共同で施設利用者の賃金の引き上げや、経済的自立を目指して設立しました。その目的を達成するために、フェア等の製品販売会や積極的な共同受注を展開するなど、数々の事業を実施しています。

石川セルフ振興センターの趣旨にご理解とご支援をいただき、共に事業の推進を図って下さいます個人・団体・企業等の賛助会員を10月より募集しています。

なお、申し込みにつきましては、石川セルフ振興センター、もしくはお近くの社会就労センターへ詳細をお問い合わせ下さい。

○年会費（平成12年3月末日まで）

個人 一口 3,000円

団体・企業 一口 10,000円

○会費振込口座（別添払込取扱票をご使用下さい）

郵便振込 00780-4-46114

石川セルフ振興センター

○会員受付窓口

石川セルフ振興センター事務局

金沢市本多町3-1-10

TEL 076-224-1212

石川セルフ振興センター賛助会員

新規加入者・企業

◆個人

☆中村孝雄様 ☆赤石一喜様 ☆湊孝次郎様

◆企業

☆朝丸工業様 ☆ハーバー金沢様


☆三伸様

ご加入ありがとうございます！

● 広告ページ ●

食べはじめたらおいしくてやめられない!

ぽん菓子



かりんご

玄米 三温糖使っておいしさもアップ!
丸ごと大豆 お茶うけ・おやつにと好評!

新メニューに
抹茶 や **チョコレート** も加わり味いろいろ
 セルプあさがお TEL (076) 274-9177

松の実園 特製! **おからクッキー**

ここがPOINT!

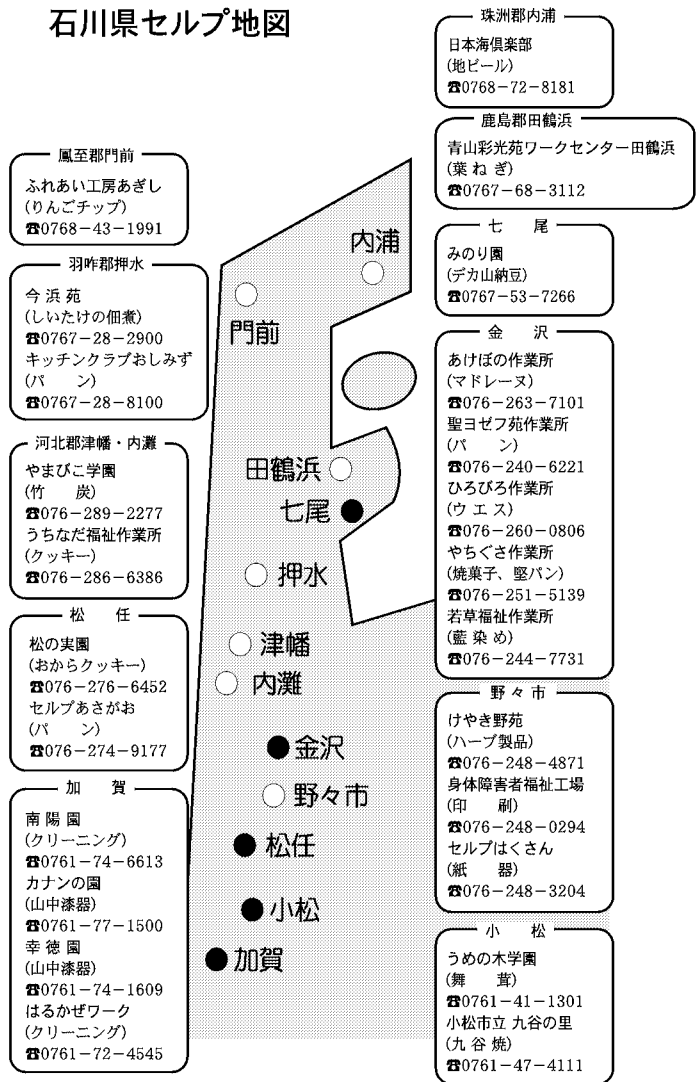
1. 原料が「おから」
→地元のおとうふやさんの「おから」を使っています
2. 食物繊維たっぷりヘルシー
→カルシウムや鉄分が豊富な無添加の健康食品!
3. ゴマやチョコ、ココアなどでアレンジ
→いろいろな味が楽しめます



おからクッキー 各200円
 ミックス・チョコ
 ロックン・ロックン(抹茶)
 ※大袋もあります。

お問い合わせ・お申し込み・ご注文は…
社会福祉法人 松の実福祉会
 社会就労センター **松の実園**
 〒924-0804 石川県松任市徳丸町 625-1
 TEL (076) 276-6452 FAX (076) 274-2360

石川県セルフ地図



石川県セルフ地図


- 珠洲郡内浦
 - 日本海倶楽部 (地ビール) ☎0768-72-8181
- 鹿島郡田鶴浜
 - 青山彩光苑ワークセンター田鶴浜 (葉ねぎ) ☎0767-68-3112
- 七尾
 - みのり園 (デカ山納豆) ☎0767-53-7266
- 金沢
 - あけぼの作業所 (マドレーヌ) ☎076-263-7101
 - 聖ヨゼフ苑作業所 (パン) ☎076-240-6221
 - ひろびろ作業所 (ウエス) ☎076-260-0806
 - やちくさ作業所 (焼菓子、惣パン) ☎076-251-5139
 - 若草福祉作業所 (藍染め) ☎076-244-7731
- 野々市
 - けやき野苑 (ハーブ製品) ☎076-248-4871
 - 身体障害者福祉工場 (印刷) ☎076-248-0294
 - セルプはくさん (紙器) ☎076-248-3204
- 小松
 - うめの木学園 (舞茸) ☎0761-41-1301
 - 小松市立九谷の里 (九谷焼) ☎0761-47-4111
- 加賀
 - 南陽園 (クリーニング) ☎0761-74-6613
 - カナン園 (山中漆器) ☎0761-77-1500
 - 幸徳園 (山中漆器) ☎0761-74-1609
 - はるかぜワーク (クリーニング) ☎0761-72-4545
- 松任
 - 松の実園 (おからクッキー) ☎076-276-6452
 - セルプあさがお (パン) ☎076-274-9177
- 津幡
 - 河北郡津幡・内灘
 - やまびこ学園 (竹炭) ☎076-289-2277
 - うちなだ福祉作業所 (クッキー) ☎076-286-6386
- 押水
 - 羽咋郡押水
 - 今浜苑 (しいたけの佃煮) ☎0767-28-2900
 - キッチンクラブおしみず (パン) ☎0767-28-8100
- 内灘
 - 風至郡門前
 - ふれあい工房あぎし (りんごチップ) ☎0768-43-1991

社会就労センター 聖ヨゼフ苑作業所 笠間信彦

800円

ネームプレート作ります!

名札



500円 350円

下駄箱用も作ります
 いしかわたろう

見本以外にも各種、ご希望に応じてつくります。
 お問い合わせ下さい。 担当: 笠間

「日本海倶楽部ビール」

能登の美しい 緑と太陽と海の贈り物。



直売宅配もOK!

セット商品のご案内。

- 330ml 瓶6本セット ー ¥3,500
- 500ml 瓶6本セット ー ¥5,000
- プレミアムボトル3本セット ー ¥3,500 (500ml・オリジナルコースター付)

トラスティ会員募集

できたての生ビールを毎月1回、1年間宅配にてお届けします。

500ml 瓶6本セット (箱入)
 月 ¥4,000

送料・消費税別/年間一括払もOK

Heart & Beer 日本海倶楽部 Nihonkai Club

お申し込み・お問い合わせ
TEL(0768)72-8181

〒927-0605 石川県珠洲郡内浦町字立壁92番地 E-mail:n-beer@po3.nsknet.or.jp

編集後記

前回の7号より、一般の方々へも「翔」が配布されました。各施設のご協力に感謝いたします。また、この翔をご覧になられた皆様ありがとうございます。今後も引き続きご愛読下さいます様お願い申し上げます。

セルプ(社会就労センター) へのご理解を頂き、ご指導、ご支援願えれば幸いに存じます。